



みどりのきずな

平成22年10月1日発行 第12号

【緑区地域福祉計画 基本理念】

『区民一人一人が手を結びあい、
心あたたまる地域の活性化をめざし、
住みよいまちを創造していく』

編集：緑区地域福祉計画推進協議会広報部会

発行：緑区地域福祉計画推進協議会事務局

(緑保健福祉センター 高齢障害支援課内)

千葉県緑区鎌取町226番地1

TEL 043-292-8142 FAX 043-292-8276

「地域社会の復権を —人の絆を大切に—」

委員長 岡本博幸

絆。それは心と心、愛と愛、血と血で結ばれた人間として崇高な結びつきのはずである。その絆をいとも簡単に切ってしまうことができるのだろうか。絆をいとも簡単に切ってしまう、自分だけの欲望に走ってしまった母親の行動が新聞に報道された。

部屋に小さい子どもを置き去りにし、食べ物を与えないで餓死させてしまった若い母親。これほど悲惨な出来事は考えられない。人間として最低な児童虐待である。

「お母さん、お母さん」と泣き叫ぶ悲痛な声が聞こえてくる。「おなかすいたよ」と哀願する子どもの弱々しい声が聞こえてくる。一人のきょうだいが抱き合って慰めあっている様子が目に浮かぶ。衰弱し虚ろになっていく子どもの姿が浮かんでくる。一日一日と苦しんでいく姿を想像しただけで目

に涙が浮かぶ。

なぜこんなことが起こったのだろう。母親の生育歴、家庭環境、教育問題、それらを問題としても解決することは何も生まれてこない。ここでは、問われない。それ以上問題なのは、母親が生活していた隣近所、自治会等の地域社会の連帯・連携が改めて問題視されてくる。「地域住民との付き合いや対話がなかったのか。」「地域コミユニケーションが希薄になつていったのか。」「母親の悩みを受け止める環境がなかったのか。」「そのことが問題である。」

「子どもの声は、本当に聞こえなかったんですか。」「隣近所の人たちは、この親子に何も関心がなかったのですか。」「ということを問うてみたい。子どもの叫び声は聞こえていたかも知れない。子どもの様子を何日も見かけなければ、どうしたのだろうという不安や関心は、あったのだと思う。その思いや行いが生まれなまま終わってしまったところ悲劇の一因

が考えられる。地域社会としてまとまりや機能が止まってしまっていたのである。

また、行政も然り。手を差し伸べるのが後手後手になってしまい、事が終わってからその重大さに気付き弁明している報道を目にすることが多い。弁明は、聴き苦しい。行政は、「待つから、攻める（外に出る）」行政に変革しなければならぬだろう。ここにも事件を生んだ一つの要因があると考えられる。

新しい街が生まれる。近代的な家やアパートが立ち並ぶ。文化的な生活が営まれる。しかし、何か欠けているものがある。核家族社会といわれる今日、地域の融合、触れ合い、助け合いという【共助】の心が希薄になつてきている。地域福祉計画は、「他者の痛みが分かる。」「かゆいところに手が届く。」「ぬくもりのある人間社会・地域社会の復権を目指すことに心を注ぎたい。」

「第2期緑区地域福祉計画の策定に寄せて」

緑区長 大曾根 裕

緑区長に就任し、半年余りが経ちました。

緑区の皆様には、日頃よりまちづくりと地域の発展に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、私たちの日常においては、さまざまな問題が発生しております。特にマスキミ等で連日のように報道されている児童虐待や独居老人の孤独死のニュースなど、地域との関わりがあれば、助かったかもしれない、そんな思いのする事件が後を絶ちません。

こどもからお年寄りまで誰もが安心して充実した生活を送ることができる、そのようなまちづくりを進めることが、今、強く求められています。

現在、緑区地域福祉計画推進協議会では、岡本委員長を中心に各委員のご尽力で、心のかよったまちづくりに向け、第二期緑区地域福祉計画の策定が進められています。

ます。

本計画の策定後は、計画の推進が課題となります。

緑区の皆様には地域福祉の向上に、より一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

誉田地区

夏祭り盆踊り大会実施される！

平山小学校地区鎌取地域において、例年恒例となっている、盆踊り大会が実施されました。

この地域での大会は、今年で三十二回となりますが、当初は、地区限定の子供会が主催し、その後婦人会の主催、そして、現在のよな近隣自治会と商店会（商交会）の共催として盛り上げて、三十二年の年月を経ています。

鎌取地域では、近年宅地造成されて、新住民が目まぐるしく増えると共に、子ども達も増加しています。

その中で、昨年より平山小学校

の先生方やPTAの皆さんのご理解とご協力を得て、小学校五年生、六年生の子ども達が踊る、『南中そうらん』踊りを取り入れて、老若男女入りみだれての盆踊り大会を実施し、会場があふれんばかりの人盛りとなり、盛大に行われました。

このような祭り事は、後世に残すべく、子ども達に伝承し、地域の親睦の輪を作り、安全・安心明るい街づくり、そして、福祉の向上に貢献していくものと考えます。

♪そうらん～ ♪そうらん～



椎名地区

泥んこで米づくりを

体験しました

私たち椎名小学校五年生は、五月十日に農家の人たちに教わりながら田植えを行いました。

「田んぼに入るのが気持ち悪い」

「あつ！ヒルがいるよ」

「田植えって腰が痛いね」

「お米はこうやって作るのか」

「秋にまた会おうね」

「お米を無駄にしないようにしよう」などが学童たちの感想でした。

一生懸命がんばりました！



『寝たつきり』はいやだ！ 健康維持にがんばります。

元気で今の生活を楽してみたいと多くの高齢者の声があります。

地区では、皆が集まる行事を利用して、健康を維持するための質問や知恵を話し合う、『健康づくり相談会』を開催しています。

六月の「ふれあい食事会」では、高齢者によくみられる「だ液」が減少し、食べ物の飲み込みが困難で、のどに詰まらせる現象を緩和する知恵（だ液を出す舌の運動・顔のマッサージ）などを健康課所属の「口腔衛生士」から学びました。

また、八月には「緑区介護保険室」職員に向いてもらい、介護保険の仕組みや適用実例などについて質疑応答式の勉強会を開催しました。

会場には、二十六名の住民、高齢者が参加し、必要になった時のために備えました。

住民からは老老介護の実態が語られ、現実に即した介護保険適用のあり方への要望も出ました。

行 事	主な実施内容	実施日	場 所
住民と子どもとの 「ふれあい事業」①	稲刈り・脱穀・精米	9 / 13 (月)	貸借田んぼ・施設
	巻き寿司づくり	12 / 9 (木)	椎名小学校教室
住民と子どもとの 「ふれあい事業」②	ものづくり 伝承あそび	11 / 20 (土)	椎名小学校教室 「しいのみ祭」にて
健康づくり事業 健康相談会含む	習慣病予防の話 口腔内衛生の話 一人で出来る軽体操	11 / 18 (木)	椎名公民館 ふれあい食事会にて
独居高齢者支援 (自宅)寝たきり者家庭訪問	話し相手、軽手伝い、 介護者慰問	12 / 23 (木)	地域全体

土気地区

子育てサロンにようこそ

子育て中のお母さんへ、あすみが丘プラザ二階和室大広間で社協の子育てサロンを開いています。見守りが主目的です。家事を少しだけ忘れて、同世代の親子が向き合って遊べる場、おしゃべり出来る交流の場です。

年二回、昭和の森で屋外サロン、春はお花見、秋はドングリ拾い、太陽の広場で、のびのびと遊び、みんなで楽しく食べる「食育」、仲間づくりの場づくりです。参加者の楽しみの一つです。その他に、緑保健福祉センターによる「育児」、「歯科」相談も行っています。

社協土気地区部会

ボランティア研修会

七月十四日(水)に実施された、ボランティア研修会は、神崎千晶先生指導のもと、『運動習慣を身につけいつまでも元気でいよう』のテーマで実技中心の楽しい、充実した研修会になりました。

日頃、いきいきサロンや散歩クラブ、食事サーブス、子育てサロンでボランティアとして活動している方々、七十名が参加、明日からの活動にぜひ取り入れようと、メモをとったり、体を動かしたりしました。

タオルで作ったボールを使つての体操や、運動する時の呼吸法も教えていただき、会場は始終和やかな雰囲気でした。

その後、グループごとに軽食をとりながら交流を行い、それぞれの立場での発言に耳を傾けました。新たに「いきいきサロン」立ち上げの話もあり、土気地区部会はとても元気に活動しています。ボランティア活動をする上で、一番大切なことは、自分自身が心身共に健康であることだと思ひ

日時：毎月第三・四(木)

十時～十二時

場所：あすみが丘プラザ 二階

支援：社協土気地区部会子育て

サロンボランティア



息を止めずに、ゆっくり横へ伸ばしま〜す



ます。さびない身体作りを実践し、長くボランテニア活動を続けていきたいものです。

おゆみ野地区

おゆみ野夏祭り

八月七日(土) おゆみ野夏祭り二〇一〇が開催されました。四十六自治会より役員八十三名が実行委員となり地域の方のご協力を得、とてもとても暑い一日でしたが、十一団体の出店・屋台を初め、太鼓、浴衣パレード、よさこい鳴子踊り等、千葉市の花火大会に負けないくらいの盛り上がりでした。屋台の片隅では青少年が汗をかきかき、地域の大人とコミュニケーションをとっている姿も見られました。昨年より青少年のためと会場内は禁煙・禁酒となつていますが、皆さまいかがでしたでしょうか？

いらっしやいませ〜
おいしいですよ〜



どうぞよろしくお願ひします

岡本 博幸 (委員長)	(委 員)		
田宮 妙子 (副委員長、広報部会委員)	秋山 正俊	田原 浩陸	
竹内 敏明 (副委員長)	石井 良節	徳田 重雄	
中村 和彦 (広報部会委員)	岩瀬 収公	豊田 洋祐	
高金 進 (広報部会委員)	鴨 省次郎	平山ひろ子	
本田 英作 (広報部会委員)	川瀬 康行	矢野 正康	
大久保昌子 (広報部会委員)	武村 潤一	余語 一晃	

◆◆◆編集後記◆◆◆
緑区地域福祉計画推進協議会に参加して、2年目になります。各地区での福祉活動、子どもを通しての出来事や催し物を家庭、学校、地域の各委員の方が前向きに取り組んでいます。「みどりのきずな」ぜひ参加してみませんか。(〇)

～市民説明会のお知らせ～
日 時：11月13日(土) 午後2時から
場 所：緑保健福祉センター 2階 大会議室
緑区地域福祉計画(第2期地域福祉計画)へ向けての説明会を行いますので、ふるってご参加下さい。
また、詳細については、10月15日発行のちば市政だよりをご覧ください。